

株式会社アルファシステムズ

第47期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで



チャレンジ精神を忘れず、 持続的な成長を目指します



代表取締役社長 黒田 憲一

Q1 中間期の事業環境と通期の見通しについてお聞かせください。

良好な事業環境が継続、 期初予想を上回る

当中間期は、近年続く良好な事業環境と、4月入社社員の早期戦力化が実現したことにより、要員稼働率を前期以上の高い水準に保つことができました。この結果、業績は期初予想を上回り、増収増益となりました。

通期も良好な事業環境の 継続を予想、丁寧な仕事を心掛け、 一層研鑽に努める

良好な事業環境は下期も続くと予想しており、通期の業績目標を達成するための業務量は十分に確保できるものと考えています。ただし、ソフトウェア開発では、お客様との認識の小さな不一致がプロジェクトを容易に不採算化させてしまいます。どの

ようなプロジェクトであっても過信せずに丁寧に進めるとともに、開発力のさらなる向上に向け、日々研鑽に努めています。

Q2 将来の事業環境についてお聞かせください。

環境変化への対応力を強化していく

AIやビッグデータに代表される「デジタル革命」の潮流が大きくなっています。この状況に対して当社では、開発推進部が旗振り役となり、AI、IoT、FinTech(金融とITの融合)といった先端技術の調査研究を進めています。また、顧客との共同研究や実証実験を通して、顧客の技術トレンドの把握と新しいビジネススキームの模索を進めています。

中長期的には、少子高齢化社会、人材不足が顕著になるにつれて、ITを活用した業務効率化や自動化、利便性の追求がますます求められる世の中になっていきます。「デジタル革命」の潮流は今後ますます大きくなり、あらゆるモノがAI等の技術を通じて自律的に情報をやり取りする時代となります。自動運転技術、災害復旧や建設機器の遠隔制御システム、遠隔医療といった、未来のサービスが現実のものになっていきます。これらを実現するためには、通信技術が必須であり、当社の強みが活かせる領

域です。「デジタル革命」の技術が次世代の通信技術である「5G」と融合し、今までにない、画期的なサービスが創出される時代において、当社は持ち前の開発力で、引き続き世の中に貢献していきたいと考えています。

Q3 変化に対応するための具体的な方向性についてお聞かせください。

ソフトウェア開発における すべての工程をマルチにこなす 「デザインするプログラマー」を育成

強みである「開発力」を強化し続けることに尽きます。正解の分からない今の世の中では、早く、簡単に作って、すぐに試す、というサイクルを何度も繰り返す必要があります。そのため、デジタル時代の技術者は、以前は明確であったボーダーライン(企画・提案・要件定義=お客様側技術者の仕事、システム作成=当社側技術者の仕事)を飛び越えて、「ビジネスモデルの提案から実際にシステムを動かすところまでを実現できる」ことを「開発力」として求められるようになりました。

今求められるのは、「エンドユーザーにおける課題解決のために、共に考え、新しいサービスの提案を行うだけでなく、様々なICTの知見を駆使して、自

ら手を動かす技術者」です。

当社ではこのような技術者を「デザインするプログラマー」と呼んで、育成に励んでいます。

Q4 そのほか、経営戦略の中で具現化した成果があれば、お聞かせください。

10月、2つの新製品を同時リリース

当社は経営戦略の一つに「新たな収入源となるビジネスの創出」を掲げ、新商品の開発・販売に取り組んでいます。これらの取り組みの成果として、10月5日に「V-Recover」(ブイ・リカバー)と「V-Worker」(ブイ・ワーカー)の2つの新製品をリリースしました。

「V-Recover」は注力している文教ソリューション関連の製品で、現在の主力製品である「V-Boot」(ブイ・ブート)の機能を絞り、より低予算で導入できるようにした製品となっています。これまで、「V-Boot」を採用いただけなかったお客様にも改めて導入を検討していただけるのではないかと期待しています。

「V-Worker」は、情報漏洩リスクを低減したままテレワークを可能とする製品となっています。現在の日本に必要とされる「柔軟な働き方」をサポートする製品です。

これらの新製品をラインナップに加え、「V-Boot」ビジネスを拡大するとともに、文教以外の市場へ提供範囲を拡大してまいります。

Q5 株主の皆様にメッセージをお願いします。

プロパー主義で培われた、 完遂する意識と能力を 活かしながら、常にチャレンジしていく

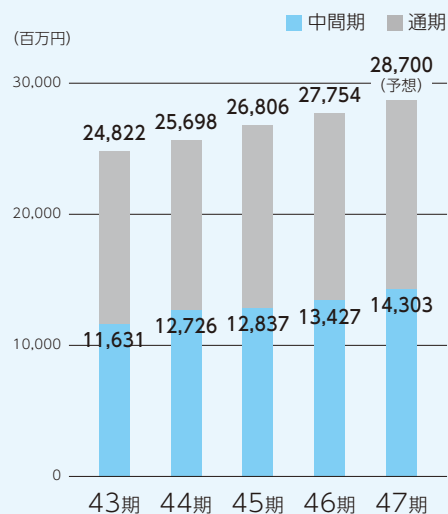
世の中の状況はめまぐるしい変化を遂げています。これに対応するためには、強みを活かしながら、どのようにしたら世の中の役に立つのかを自ら考えていく必要があります。

当社の一番の強みは、高い意識と技術力を持った人材にあります。社員は入社時にすでに高度な素養を持っていますが、入社後は当社のプロパー主義の風土で切磋琢磨されることで、困難なプロジェクトでも自身で完遂する意識と能力が培われていきます。この人材という強みを活かしながら、常にチャレンジを続け、持続的な成長を目指します。

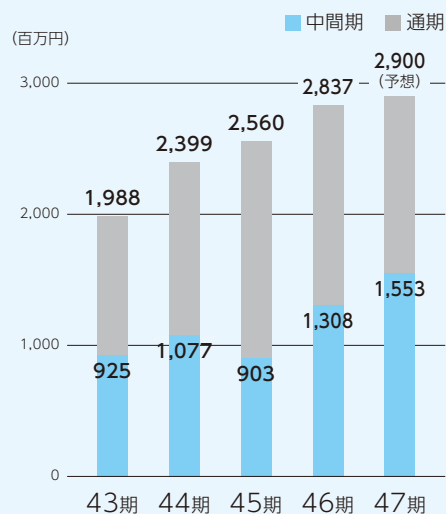
引き続き、株主の皆様のご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

事業概況のご報告

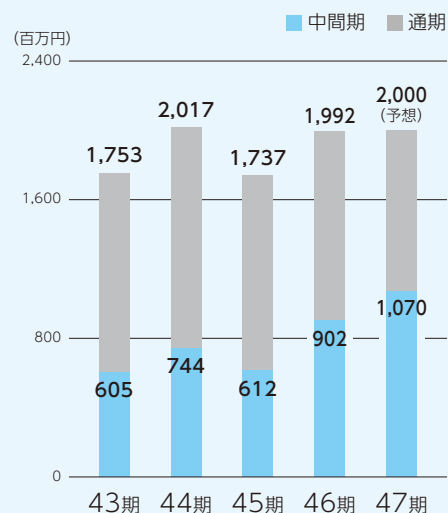
売上高



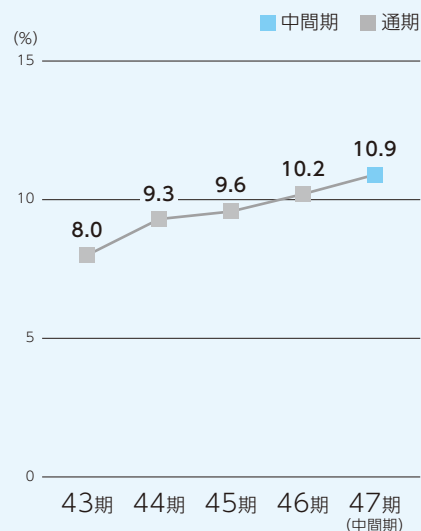
営業利益



当期純利益



売上高営業利益率



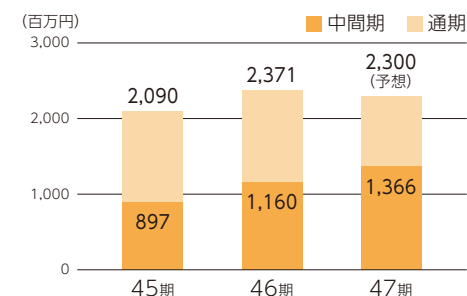
事業区分別の概況(売上高)

通信システム

ノードシステム関連の売り上げが増加したことにより、売上高は5,229百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

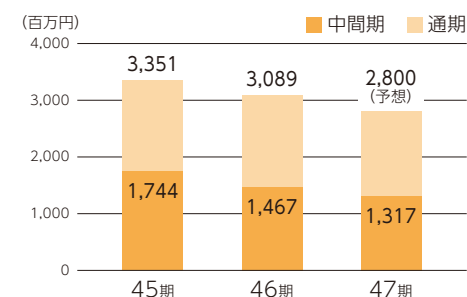
ノード

交換システム関連の売り上げは減少しましたが、次世代ネットワーク(NGN)及びPSTNマイグレーション関連の売り上げが増加したことにより、売上高は1,366百万円(前年同期比17.8%増)となりました。



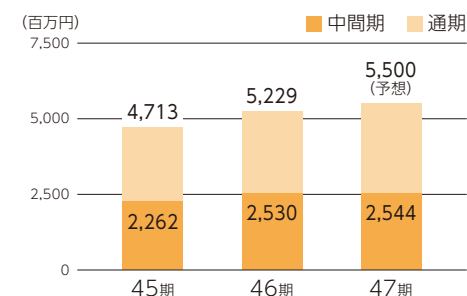
モバイルネットワーク

無線基地局関連の売り上げが減少したことにより、売上高は1,317百万円(前年同期比10.2%減)となりました。



ネットワークマネジメント

次世代ネットワーク(NGN)関連の売り上げが増加したことにより、売上高は2,544百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

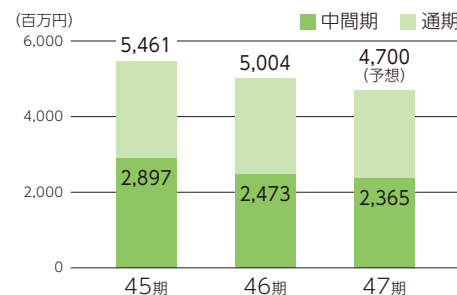


オープンシステム

金融及びエネルギー関連の売り上げは減少いたしました、流通・サービス関連の売り上げが増加したことにより、売上高は7,815百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

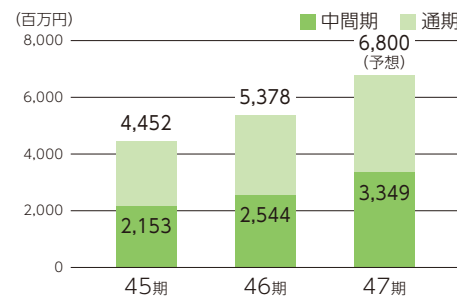
公共

官公庁向けシステム関連の売り上げは増加いたしました、エネルギーシステム関連の売り上げが減少したことにより、売上高は2,365百万円(前年同期比4.4%減)となりました。



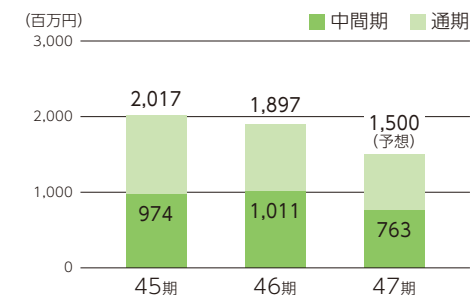
流通・サービス

インターネットビジネス関連の売り上げが増加したことにより、売上高は3,349百万円(前年同期比31.6%増)となりました。



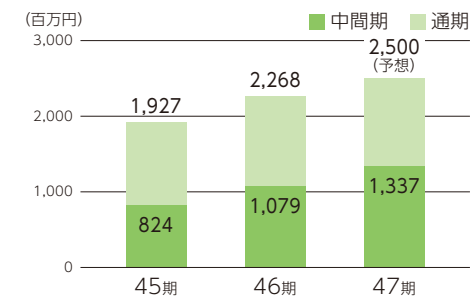
金融

銀行システム関連及び決済関連システムの売り上げが減少したことにより、売上高は763百万円(前年同期比24.6%減)となりました。



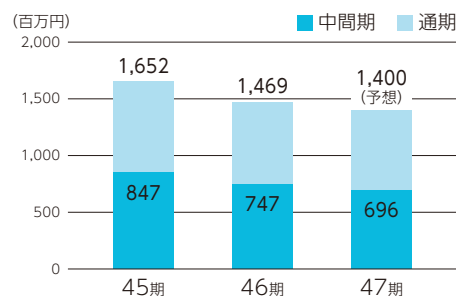
その他

製造業向けシステム関連の売り上げが増加したことにより、売上高は1,337百万円(前年同期比23.9%増)となりました。



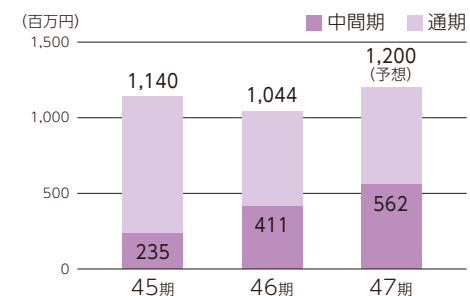
組み込みシステム

スマートメーター関連の売り上げは増加いたしました、OA機器関連の売り上げが減少したことにより、売上高は696百万円(前年同期比6.9%減)となりました。



その他

文教ソリューション関連の売り上げが増加したことにより、売上高は562百万円(前年同期比36.5%増)となりました。



IT企業としての働き方改革

ライフスタイルの多様化が求められる現代においては、家庭環境や人生の段階に応じて、仕事と生活を両立するためのバランスが重要となります。当社では、経済的な充実を図りつつ、家庭や地域の和、健康増進などを目的に、従業員の生活や状況に合わせた働き方ができるよう勤務時間を調整するための取り組みや制度を設けています。

また、IT企業ならではの生産性の向上に向けた様々な取り組みを行い、それによって創出された余暇時間により個人生活の充実を図り、それがさらに仕事への活力として還元されるサイクルを作り上げています。

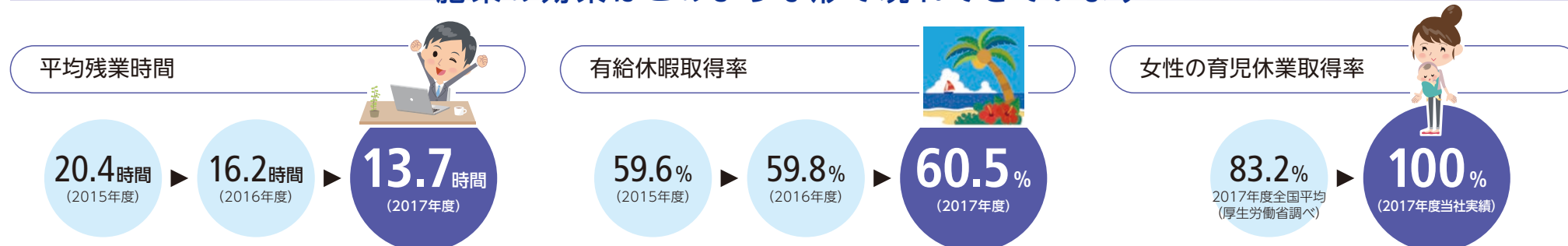
長時間勤務の解消

開発業務の効率化	間接業務の効率化
生産性を高める先端技術の早期導入・活用	業務プロセスの改善によるムダの排除
プログラミング・テスト工程の自動化	ビジネスデータをより適確に分析し活用するためのIT化推進
作業時間に依存しない契約形態への移行	ITを活用したコミュニケーション環境の充実

柔軟な働き方支援

生活を支える各種制度
円滑な仕事との両立を実現する育児・介護休業の活用
社員の事情に合わせた短時間勤務の適切な利用
効率的な働き方を実現するフレックスタイム制度

施策の効果はこのような形で現れてきています

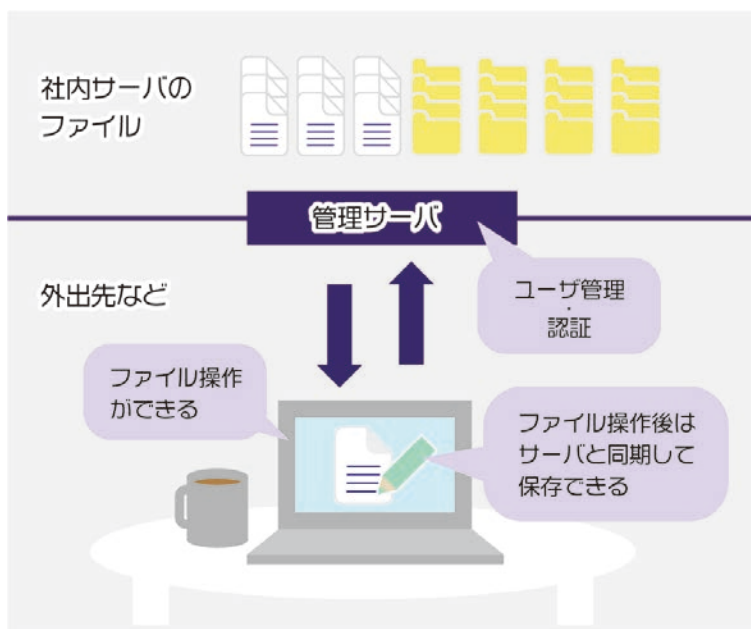


アルファシステムズ の新製品紹介

リモートアクセスシステム 「alpha V-Worker」

昨今、情報漏洩や働き方改革への対応などにより、社外から安全にリモートワークを実現するシステムのニーズが拡大しています。新製品「alpha V-Worker」は、外出時や自宅などから社内にあるファイルを編集したいというニーズに対して、セキュリティを確保し、安価なコストで導入できるリモートアクセスシステムです。本製品のリリースにより、セキュリティ分野などの新たな市場に対するアプローチを狙いとしています。

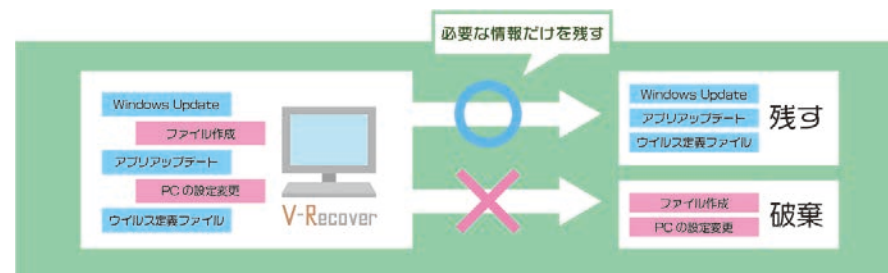
本製品は電波が通じない場所でも利用でき、かつ容量の大きなファイルをスムーズに操作できるため、現在主流の仮想デスクトップ型の製品に対する優位性を持っています。



環境復元システム 「V-Recover」

PCのOSやアプリケーションなどの環境を、再起動で元の状態へ復元させるシステムです。既に販売している「V-Boot」は多機能で高価なため、大規模ユーザに適しています。新製品「V-Recover」は、それほど機能を必要とせず、低予算で導入したいという顧客に対し、PC教室などを管理するシステムとして提案する製品です。本製品のリリースにより、文教市場に占める当社のシェアの拡大を狙いとしています。

システムをインストールすると、PC内部で「残す情報」と「破棄する情報」の設定ができるようになります。例えば、シャットダウン・再起動時にWindows Updateやウイルス定義ファイルなど、PCのメンテナンスに関するファイルだけをPC内部に残し、その他の変更はすべて破棄するように設定すれば、PCを利用すると同時に自動でメンテナンスが可能になります。他社製品の場合は、PCのメンテナンス時に復元機能のON・OFF切替作業が必要で手間がかかりますが、「V-Recover」ではその手間を省くことができます。



トピックス

社会貢献

多摩川美化活動に参加して

神奈川県川崎市に本社を置く当社では、地域への貢献と環境の美化を目的として、毎年、川崎市が主催する多摩川美化活動に参加しています。

今年で第40回となる多摩川美化活動は、天候にも恵まれ、主催者発表では、171団体、14,208名が参加し、約4.15トンのゴミが集められました。

今回、当社からは70名が参加し、その人数は年々増加しています。特に今年は天候に恵まれたため、家族連れで参加する社員が多く、子供達の環境意識を向上させる素晴らしい機会となりました。清々しい青空の下で、家族揃って笑顔で楽しみながら社会貢献を行った思い出は、きっと未来へと運ばれていくことでしょう。

当社では、この他に神奈川県内で開催されるビーチクリーン活動などへも参加しています。今後も、社会貢献活動に積極的に参加してまいります。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話: 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.alpha.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- ご注意
1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **株式会社アルファシステムズ**

〒211-0053
神奈川県川崎市中原区上小田中6丁目6番1号
本社(中原テクノセンター1号館)
電話: 044-733-4111(代表) Fax: 044-739-1100
<https://www.alpha.co.jp/>

